

日光杉並木オーナー制度

「日光杉並木オーナー制度」とは杉並木保護に賛同された皆様に並木杉1本につき1千万円でオーナーになっていただき、その代金を栃木県が「日光杉並木街道保護基金」で運用し、その運用益で並木杉の樹勢回復事業等を実施するという制度です。



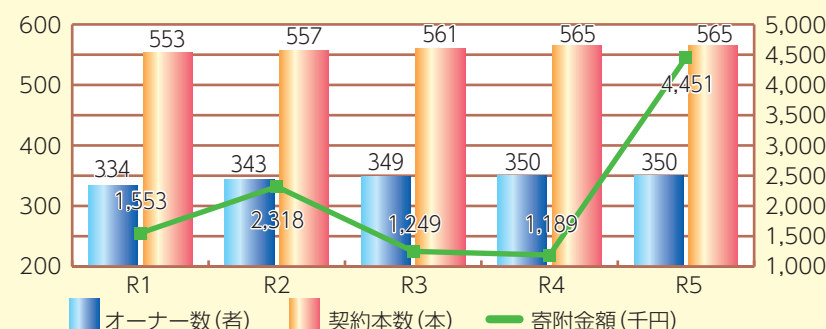
オーナー証書レプリカ



オーナー杉

令和5(2023)年度末	オーナー数	350者
	契約本数	565本
	(前年度同数)	
新規契約オーナー	個人	2名 2本
	法人	6法人 6本
	計	8者 8本

オーナー数、契約本数及び寄付金額の推移



オーナー制度について
(県HP)



寄附について
(県HP)

インフォメーション

INFORMATION

● オーナー契約に関する届出について

次の場合はオーナー契約に関する届出が必要となります。契約書を確認していただき、該当する場合は御連絡ください。

【届出が必要な場合】

個人の方：氏名変更、住所変更、相続開始

法人の方：名称変更、所在地変更、合併、分割、解散

(※法人代表者の変更は、届出の必要はありません。)

連絡先：栃木県生活文化スポーツ部文化振興課文化財保護担当(杉並木保護チーム)

TEL 028-623-3460 FAX 028-623-3426

Email suginamiki@pref.tochigi.lg.jp



公益財団法人 日光杉並木保護財団

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1丁目1番20号
(栃木県生活文化スポーツ部文化振興課内)
TEL 028-623-3460 FAX 028-623-3426



日光杉並木保護財団会報 第25号

日光すぎなみき



日光フォトコンテスト入賞作品『木漏れ日差す日光杉並木街道』

日光杉並木街道は令和7(2025)年、
植樹開始から400年を迎えます



日光杉並木は、徳川家の家臣であった松平正綱、正信親子2代により1625年から20数年の歳月をかけて植えられたと伝えられています。

わが国で唯一、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている日光杉並木街道は、栃木県が世界に誇る貴重な文化遺産であり、世界で最も長い並木道としてギネスブックに掲載されています。

日光杉並木街道の景観を維持し、次世代へ守り引き継いでいくため、これまでの保護事業に加え、改めて日光杉並木街道の魅力や保護の必要性を広く周知して参ります。

皆様もこの機会に改めて日光杉並木街道を訪ね、その魅力に触れてみてください。

令和5(2023)年度日光杉並木保護財団活動報告

● 樹勢回復 ●

財団事業 **事業規模** **7,434千円**
県事業(参考) **事業規模** **26,631千円 (国庫補助金 1/2)**

木柵改修

並木杉の根を保護するため設置した木柵について、腐食が激しい木柵を対象に栃木県と協力し、改修工事（例幣使街道小代地区464m）を実施しました。



木柵改修前



木柵改修後

● 「杉の並木守」活動支援 ●

日光杉並木街道保護ボランティア「杉の並木守」による保護活動を支援するため、活動に必要な資材の提供を行いました。

約130名(全11班)のボランティアの皆様へ街道の下草刈りや清掃活動に御協力いただいております。今年度は、初めて2社の法人の方々(明治安田生命保険相互会社宇都宮支社今市営業所様、株式会社とちのき塗装テック様)にお申込みいただきました。



活動の様子



「杉の並木守」養成講座の様子

● 令和5(2023)年度日光杉並木街道保護賛同者の皆様(申込順) ●

新規オーナー紹介

🔥 医療法人卓和会藤井脳神経外科病院 様 (栃木県)	🔥 株式会社地熱工業 様 (栃木県)
🔥 須田 行雄 様 (栃木県)	🔥 大島建設工業株式会社 様 (栃木県)
🔥 三水プラント株式会社 様 (栃木県)	🔥 株式会社田村緑化工業 様 (栃木県)
🔥 東洋測量設計株式会社 様 (栃木県)	他 1者

保護基金協力者紹介

🔥 公益社団法人栃木県産業資源循環協会 様 (栃木県)	🔥 ボランティア・ベンダー協会 様 (東京都)
🔥 KDDI株式会社 様 (埼玉県)	🔥 株式会社クワバラ・パンぷキン 様 (埼玉県)
🔥 株式会社栃木銀行 様 (栃木県)	🔥 川上 廣 様 (神奈川県)
🔥 公益社団法人栃木県ビルメンテナンス協会 様 (栃木県)	🔥 一般社団法人栃木県住宅協会 様 (栃木県)
🔥 内田 梨恵子 様 (千葉県)	🔥 宇都宮文化センター株式会社 様 (栃木県)
	他 15者

日光杉並木街道保護へのご協力、大変ありがとうございました

植樹400年記念事業の紹介

● 植樹400年記念ロゴマーク作成(栃木県事業) ●

日光杉並木街道の魅力や保護の重要性を改めて広く県内外へ発信することで、杉並木保護への支援の輪をさらに広げ、本県が世界へ誇る貴重な文化財を次世代へ引き継いでいくことができるよう、日光杉並木植樹400年を記念したロゴマークを作成しました。

このロゴマークを活用して、県・日光市・日光東照宮の3者が連携しPR活動を行っていきます。また、県民や企業の皆様とともに植樹400年のPR活動を進めるため、県HPに掲載し、申請によりロゴマークの使用ができるようにしています。

＜ロゴマークのコンセプト＞

- ・400年もの長い歳月の間、街道沿いの杉が成長し、行き交う人を見守ってきたことを、「400」の文字の中に風景を入れることで表現しました。
- ・「400」の文字を横断する3本の線で、日光杉並木を構成する3街道（日光街道・例幣使街道・会津西街道）を表現しました。
- ・ロゴの色は光の中にある強い杉並木をイメージしています。



● 日光杉並木映像作品コンテスト実施(栃木県事業) ●

「次世代に残したい日光杉並木」をテーマに、日光杉並木映像作品コンテストを実施しました。



● 「日光杉並木っぷ」販売開始(栃木県事業) ●

「とちぎの文化」を活かした文化観光や観光客の周遊の促進を図るため、県と関東自動車株式会社との共同企画による路線バス企画乗車券「日光杉並木っぷ」を販売しています。

JR宇都宮駅から日光東照宮間の全てのバス停で乗降可能で、県立博物館・美術館をはじめとした11の施設でおトクなサービスが受けられます。2025年3月までご利用いただけます。



詳しくはこちら
(県HP)



● 杉並木見学会開催(日光市事業) ●

日光杉並木街道の魅力を改めて感じていただくため、その歴史や保護活動等について講座で学んだ後、名所・名物杉やその周辺の文化財を歩いてめぐる杉並木見学会を実施しました。日光市にお住まい・お勤めの19名の方々にご参加いただきました。



野口地内



杉並木公園